

# そら

栄区社会福祉保健ボランティア情報誌

## 第43号 平成17年2月1日発行

発行 社会福祉法人横浜市栄区社会福祉協議会  
栄区桂町279-29 栄区福祉保健活動拠点内  
☎：894-8521 FAX：892-8974  
E-mail：office@sakaeku-shakyo.jp  
URL：http://www.sakaeku-shakyo.jp

栄区承認番号56号

### 特集号

情報誌「そら」は、通常は2ヶ月毎に、自治会・町内会の回覧で皆さんにお届けしていますが、今回は全戸配布でお届けいたします。

## 行って みよう！ 栄区ボランティアセンター



栄区福祉保健活動拠点の外観

### ●栄区ボランティアセンターの設置目的は何？

ボランティアを必要とする人と、ボランティアをしたい人をつなげたり、ボランティア活動の支援をします。また、ボランティア・市民活動の振興を図ることを目的としています。

### ●栄区ボランティアセンターの場所は？

所在地は、栄区福祉保健活動拠点の中です。  
栄区役所前、栄公会堂隣にあります。

### ●運営しているのは誰ですか？

横浜市栄区社会福祉協議会です。

### ●どのような活動が、行なわれているのでしょうか？

#### 1 ボランティアをしたい人とボランティアを依頼したい人をつなぎます。

例：高齢者・障害のある方の庭の草取りや剪定、高いところにある物の移動、大きな家具の移動、話し相手、壊れた扇の修理、手紙の翻訳、ゴミだし等。

\*ボランティアコーディネーターが、ボランティア登録者の中から活動して下さる方をさがします。

#### 2 ボランティア登録をすると

- ・ボランティア情報誌「そら」が隔月で届きます。
- ・「そら」で施設等の催し物の情報を知ることができます。
- ・ボランティアの仲間と友達になるきっかけになります。
- ・ボランティア活動依頼のお便りが届きます。
- \*あなたもごいっしょにボランティアの輪を広げませんか！

#### 3 ボランティア活動に関する相談

<こんなときにご相談ください>

- ・退職後の過ごし方について、何をしたらよいか分かりません。
- ・ボランティア活動について教えてください。
- ・ボランティアグループを立ち上げたいのですが…
- ・ボランティア保険について教えてください。

#### 4 ボランティア活動に関する講座の開催

- ・手話講座
- ・男性ボランティア入門講座
- ・障害児・者サポートボランティア講座
- ・送迎ボランティア養成講座
- ・傾聴講座
- ・中学生サマーボランティア講座等
- \*その他さまざまな講座が計画されています。

# ボランティアセンター大解剖！

## — ボランティア相談・依頼 —

(平成15年度分)

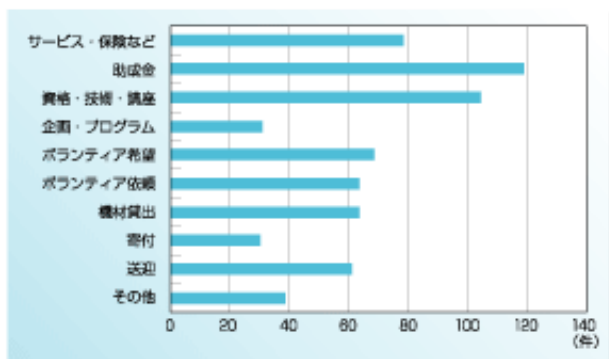
★相談件数・・・671件

★ボランティア派遣人数・・・延べ532人

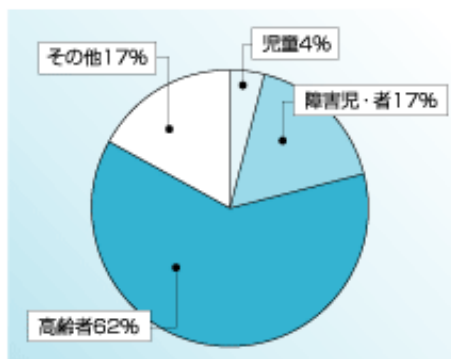


熱心に相談中

ボランティアセンターでは、ボランティア活動についての相談や依頼を受け付けています。また、ボランティア募集中です。お気軽にお出かけください。電話：045(894)8521



グラフ(1) 相談件数(平成15年)



グラフ(2) ボランティア派遣分野別内訳(平成15年)

グラフ(1)は、相談件数を棒グラフにしたものです。

グラフ(2)は、ボランティア派遣を分野別に紹介しています。(継続的なものは、1件として数えました)

グラフ(2)を見ると派遣先は、高齢者が多いことがわかります。高齢になると膝や腰などが痛み、これまでは、自分で簡単にできていた庭の草取り等ができにくくなるようです。障害児・者の場合は、水泳訓練会の見守り、レクリエーション活動への参加等です。ボランティアといっしょに楽しく過ごすことで、その方たちの活動の場も広がります。

## — 栄区のボランティア登録者数は? —

★個人登録...350人

★グループ登録...69団体、1,961人

栄区ボランティアセンターへの登録者数は、横浜市内18区の中で3番目に多い数です。

(平成16年3月31日現在)



ぼらんていあ村大集いのようす(栄区民まつりにて)



## — 拠点(場所)の利用について —

★平成15年度拠点の

利用実績...3,984回/年

栄区福祉保健活動拠点では、ボランティアグループなどがさまざまな活動をしています。市内で1番の利用率です。

**問題1** 善意銀行って何ですか？

**答** 善意銀行は、ボランティアセンターの事業のひとつです。区民の皆様から善意のこもった金銭や物品をお預かりし、区内の高齢者、障害児・者、児童などの福祉活動に役立たせていただいています。

預託には、**金銭**（例：冠婚葬祭のお返しに代えての寄付、バザーの収益金など）と、**物品**（例：車椅子、手作り品など）があります。

**問題2** ボランティアセンターのお休みは、いつでしょうか？

- ①月 ②火 ③水 ④木 ⑤金  
⑥土 ⑦日・祝日・年末・年始

**答** ⑦日・祝日・年末・年始

ボランティアセンターは、月曜～土曜の9時～17時まで開いています。土曜も開館していますので、平日仕事がある人もどうぞお立ち寄りください。

**問題3** ボランティアセンターのある栄区福祉保健活動拠点の部屋の利用料はいくらでしょうか？

**答** 利用料は、**無料**です。

**問題4** ボランティアセンターで扱っているボランティアの保険はどれでしょうか？

- ①ボランティア行事用保険  
②ボランティア活動保険  
③福祉サービス総合補償  
④送迎サービス補償

**答** ①②③④全て扱っています。詳細は、直接事務所へお問合せください。

**問題5** ボランティアセンターで貸し出ししていないものが、この中に一つだけあります。どれでしょうか？

- ①車椅子 ②軽量テント  
③チャイルドシート ④剪定ばさみ  
⑤パソコン

**答** ⑤パソコン

ボランティアセンターでは様々な備品の無料貸し出しをしています。このほかにも、**高齢者疑似体験セット**や**福祉ビデオ**などの貸し出しを行っています。パソコンは貸し出せませんが、拠点にはボランティアさんが自由に使えるパソコンがあります。

**問題6** 部屋を借りるときの手続きは？

**答** 利用するには登録が必要です。受付後審査・登録となります。利用したいときは毎回、部屋の**使用許可申請書**を提出して、希望の部屋が空いていたら利用ができます。但し、福祉保健に関する活動に限られます。

**問題7** ボランティアセンターで受け付けているものはどれでしょうか？

- ①ベルマーク ②盲導犬・聴導犬の募金  
③使用済み切手 ④古着 ⑤プルタブ  
⑥使用済みカード類 ⑦善意銀行への寄付

**答** ②、⑦です。**ベルマーク**は学校等で実施中。プルタブ（アルミ缶の口）を集めるよりもアルミ缶そのものを集めたほうがより有効な資源活用になります。使用済みの切手やカード類は、現在集めておりません。

**<ボランティア用語一コマ>**

★**実費弁償**：交通費等活動に必要な実費程度の支払いを行うこと。

★**有償ボランティア**：ボランティア活動に対するお礼に代わるものとして、ボランティアグループ内で設定された低額の報酬を得るボランティア。主に、住民参加型在宅福祉サービスを担う人々を指します。（サービス提供者と利用者が対等の立場に立ち、困ったときはお互い様という精神を基に、お金を介することで「してもら」いう負担を軽くするメリットもあります。）

★**チョボラ**：ちょっとボランティアのこと。例えば、高齢者宅のゴミ出しの手伝い、古紙回収へ出せるように新聞紙を重ねてひもをかけるお手伝い、道端に落ちていた紙くずを拾ってゴミ入れに入れる等。ちょっとした気配りのボランティアは、誰にでもできますね。



# さあ！ボランティア活動を始めましょう

## 少しだけお耳を拝借

### ボランティア活動を始めるあなたへ

#### 1.無理せずゆっくりはじめよう！

生活の中でできること、身の回りでできることから始めてみましょう。

#### 2.約束・秘密を守ろう

人とのつながりや信頼関係を作っていく上で大切なことは、自分勝手な行動を慎むこと、思い込みで行動しないこと、約束を守ることです。活動していくうちにいろいろなことを見聞きします。プライバシーには、十分配慮してください。

#### 3.自分を振り返ろう

活動をはじめするには、少しの勇気と積極性が必要です。同時にまわりの人の立場や気持ちを考えながら謙虚に支援しましょう。また、地域を共に作っていくという視点も大切です。

#### 4.もっとみんなに知らせよう

「こんなボランティアをやってるよ！」とまわりの人にも伝えてください。やってみたいと思っている人がいるかもしれません。いろいろな人の力を合わせることで解決できる問題もあるはずです。一人で抱え込んで悩まないようにしましょう。

### ボランティアを依頼したいあなたへ

#### 1.ボランティアさんってどんな人？

ボランティア活動は、よほど暇な人がやるものだと誤解している人がいるようです。ボランティアさんの手帳は、予定で真っ黒に埋まっている方が多いんですよ。ボランティアさんは、何かお手伝いすることがあればと考え、行動に移すことができる人たちです。

#### 2.依頼する前にちょっと考えましょう

取り敢えず安易に依頼するのではなく、家族で協力できること、近所同士で助け合えることなど考えてみましょう。それには日頃からご近所同士の交流を深めていないと難しいですね。

ボランティアさんは、本当にお困りの方のところへ行きたいと思っています。便利だからと安易な利用は、お互いに不信感が芽生える元です。



男性ボランティアグループ「いでたち」活動中

## 災害ボランティア活動のあれこれ

昨年は、台風や地震など自然災害の多い一年でした。栄区では、昨年10月の台風で床上浸水した地域が数箇所出ました。心からお見舞い申し上げます。

翌日にはボランティアが被災された地域へ入り、水に濡れて重くなった畳や、カーペットなどの運び出しというたいへんな力仕事をしました。

また、ご用聞きメモを手に「何が必要ですか」という情報収集活動も行ないました。

ご協力いただいたボランティアの皆様には感謝申し上げます。



ところで災害ボランティアに参加するにはどのようなことに気を付けたらよいのでしょうか。

災害直後は、現地も混乱し、指示系統も不十分です。前もって現地の災害ボランティアセンターに詳細をよく確認してから行きましょう。勝手な行動は、危険を招きます。ボランティアセンター等の指示に従って、安全で効率の良い働き方ができるようにしましょう。

今求められているものは何かをよく把握し、救援活動に反映できるよう心がけましょう。

被災者は、くたくたに疲れています。思いやりの心を忘れずにお手伝いしましょう。

義援金・衣類（古着はダメ）の寄附など、実際に現地に行かなくても、できることもあります。